

主要な経済指標の発表予定と予測 (3/18~3/22)

経済調査部 エコノミスト

徳田 秀信

03-3591-1298

hidenobu.tokuda@mizuho-ri.co.jp

【来週の注目材料】※ () 内はみずほ総研予想

20日 : 春分の日 (日本休場)

21日 : 2月の貿易統計 (貿易収支▲8,781億円、輸出前年比+1.8%、輸入同+18.5%)

: 1月の全産業活動指数 (前月比▲1.5%)

大企業の景況感は2四半 期ぶりに改善

1~3月期の法人企業景気予測調査 (12日発表) では、大企業・全産業の景況判断BSI (貴社の景況、「上昇」-「下降」社数構成比) が+1.0%Pt (10~12月期▲5.5%Pt) と2四半期ぶりにプラスとなった。製造業では、原材料価格の上昇等を受けて化学 (▲7.4%Pt) や食料品 (▲21.2%Pt) がマイナスとなる一方、円高修正などを背景に生産用機械 (+10.2%Pt) 等の一般機械類や自動車・同付属品 (+2.4%Pt) がプラスとなった。非製造業では、気温低下により冬物商材の販売が堅調な小売業 (+3.0%Pt) や株取引の増加などから手数料収入が改善している金融・保険業 (+9.7%Pt) などがプラスとなった。

同時に調査された2013年度の設備投資計画 (ソフトウェア含む・土地除く、全規模・全産業) は前年比▲6.5%と、マイナス幅が当初の計画としては2009年度以来の大きさとなった。1月の機械受注 (11日発表、船舶・電力除く民需) も前月比▲13.1%と4カ月ぶりに減少するなど、企業の設備投資に対する姿勢には依然として慎重さがみられる。今後の設備投資は収益の改善などを背景に回復するとみられるが、そのテンポは緩やかなものにとどまるだろう。

来週は貿易統計や全産業活動指数が発表される。

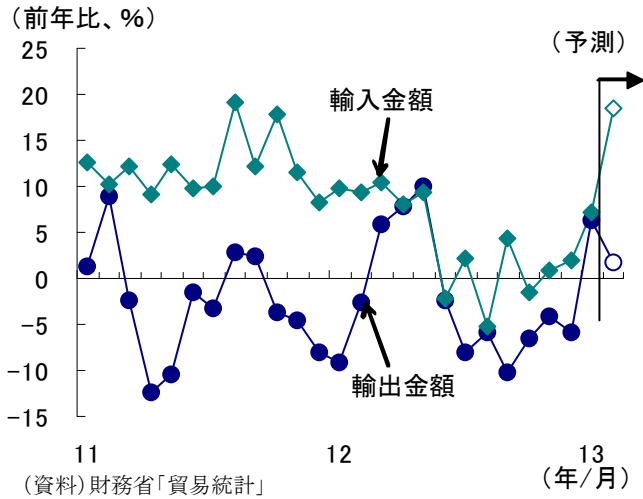
貿易収支は大幅な赤字

21日に発表される2月の貿易統計は、貿易収支が8,781億円の赤字 (1月1兆6,309億円の赤字)、輸出金額が前年比+1.8% (1月同+6.4%)、輸入金額が同+18.5% (1月同+7.3%) と予測する。中国の春節休暇の影響で輸出金額の伸びは1月から鈍化する見通しである。他方、輸入金額は円安による輸入価格上昇と燃料輸入の増加を受けて前年比二桁増が見込まれる。輸出金額の増加幅を輸入金額の増加幅が上回り、貿易収支は大幅な赤字が続く見通しである。

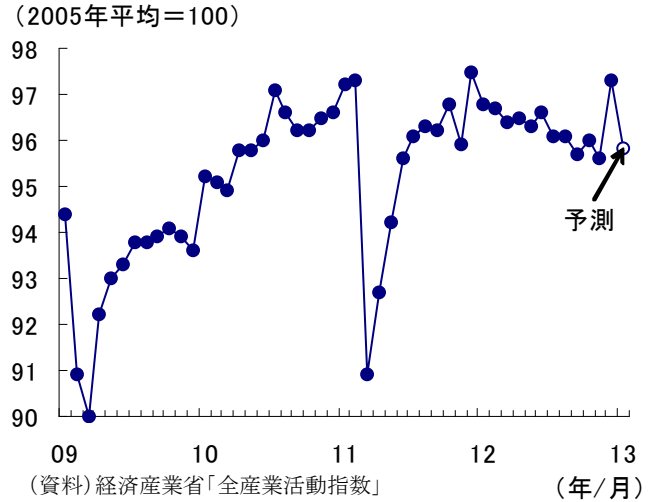
全産業活動指数は2カ月ぶりに低下

同日発表される1月の全産業活動指数は前月比▲1.5%（12月同+1.8%）と予測する。第3次産業活動指数が低下したため、2カ月ぶりに前月比マイナスとなった模様である。

図表 1 貿易統計



図表 2 全産業活動指数



執筆担当～ 徳田秀信

予測担当～ 貿易統計：前川亜由美、全産業活動指数：風間春香

米国主要経済指標（ダイアリー掲載分）：山崎亮

●当レポートは情報提供のみを目的として作成されたものであり、商品の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成されておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容は予告なしに変更されることもあります。

【 来週のダイアリー 】

日付	経済指標等	予想	前回	前々回	
3/15(金)	米	鉱工業生産指数(2月) 前月比	[+0.2%]	▲0.1%	+0.4%
		設備稼働率(2月)	[79.2%]	79.1%	79.3%
		消費者物価指数(2月) [食品・エネルギーを除く] 前月比	[+0.6%]	±0.0%	±0.0%
			[+0.1%]	+0.3%	+0.1%
		ニューヨーク連銀景況指数(3月)	[+10.0]	+10.0	▲7.8
	ミシガン大消費者信頼感指数(3月速報)	[77.0]	77.6	73.8	
	ネット対米長期証券投資(1月)	N.A.	+642億ドル	+524億ドル	
3/19(火)	米	住宅着工件数(2月) 年率	[90.0万件]	89.0万件	97.3万件
		住宅着工許可件数(2月) 年率	[92.0万件]	90.4万件	90.9万件
		週間小売売上高(～3/16) ICSC-GS 前年比 レッドブック 前年比	N.A. N.A.	+1.8% +2.7%	+1.8% +2.2%
3/20(水)	日	春分の日(日本休場)			
	米	FOMC(19・20日)			
3/21(木)	日	通関収支 原数値 [▲8,781億円]	▲16,309億円	▲6,433億円	
		貿易統計(2月) 前年比 [-]	-	-	
		輸出 前年比 [+1.8%]	+6.4%	▲5.8%	
	輸入 前年比 [+18.5%]	+7.3%	+1.9%		
	全産業活動指数(1月) 前月比	[▲1.5%]	+1.8%	▲0.4%	
	米	中古住宅販売件数(2月) 年率	[497万件]	492万件	490万件
景気先行指数(2月) 前月比		[+0.3%]	+0.2%	+0.5%	
失業保険新規申請件数(～3/16) 失業保険受給者数(～3/9)		[345千人] [3,215千人]	332千人 3,204千人	342千人 3,113千人	
	フィラデルフィア連銀景況指数(3月)	[±0.0]	▲12.5	▲5.8	
3/22(金)	独	i f o 景況感指数(3月)	107.5	107.4	104.3

予想：[]はみずほ総合研究所予想、それ以外はコンセンサス(Bloomberg等)、予定は変更になる可能性があります。日：日本、米：米国、独：ドイツ。